

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	アレルギー相談センター事業費補助金	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局	健康局	担当課室	疾病対策課	疾病対策課 難波 吉雄		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「アレルギー相談センターの実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アレルギー性疾患(花粉症、アトピー性皮膚炎等)については、民間療法を含め膨大な情報が氾濫しており、正しい情報の取捨選択が困難な状況であるため、正しい知識と情報提供等を行い、患者や家族ひいては国民一般からの悩みや不安の解消を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①アレルギー専門医、専門医療機関の所在に関する情報提供。 ②薬や症状、自己管理・日常生活の注意点などアレルギー性疾患全般(喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなど)に関する専門スタッフの電話相談。 【補助率】10/10					
実施状況	アレルギー性疾患に関する電話相談は平成21年度の1,846件となっている。 (平成19年度(7月から開始)1,136件、平成20年度 1,679件、平成21年度 1,846件)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	12	12	12	12	10
	執行額	12	12	12		
	執行率	100	100	100		
	総事業費(執行ベース)	12	12	12		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先・用途の把握については、事業完了後提出される事業実績報告により把握				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リウマチ、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症等のリウマチ・アレルギー性疾患患者は国民の30%に上ると言われており、患者数や国民の関心も高い重要な課題となっている。</li> <li>・電話相談件数については、前年度に比べ167件増(109.9%)増の伸びを示している。</li> <li>・本疾患は正しい自己管理を行うことにより重症化を防止できることから、引き続き正しい知識や情報提供による啓発を推進する必要がある。</li> </ul>				
予算・監視・所見率	<p>一部改善(コスト削減)</p> <p>公益法人向け補助金の支出を削減する観点から、事業の効率化により予算縮減に努めること。</p>					
補記						

厚生労働省  
12百万円

交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等

【補助】

A. (財)日本アレルギー協会  
2百万円

・ホームページによるアレルギー専門医、専門医療機関の所在等情報提供  
・専門スタッフによる国民からの電話相談  
・ホームページによる免疫アレルギー疾患に関する研究班の成果報告

【随意契約】

B. (株)b  
2百万円

・アレルギー相談センターのホームページ作成等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように記  
 載)

A. (財)日本アレルギー協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	アレルギー相談を行うのに必要な経費(消耗品費、備品費、印刷製本費、通信運搬費、借料及び損料、賃金)	10			
委託費	(株)bへのホームページ作成を委託	2			
計		12	計		0
B.(株)b			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ホームページ作成経費	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0